

食分野における持続可能 でエシカルな消費： タイの視点



プーダパット・ウィモンクナーラック 助教授

スコータイタマティラートオープン大学
タイ



タイの食べ物

「一粒の米も尊い」



**"すべての米は、米農家の
汗と努力の結晶である"**



**このタイでよく使われることわざは、農耕文化や農民への敬意
に根ざし、食べ物の価値を強調し、無駄を戒めるもの。**

タイ食品におけるグリーン（環境配慮型）食品包装

竹筒



蓮の葉



ココナッツ



バナナの葉



エシカル消費促進のための官民の取組



バイオエコノミー

再生可能な生物資源の生産と
これらの資源の付加価値への転換



循環型経済

資源の再利用とリサイクル
を目指す



グリーン経済

経済、社会、環境のバランスを維持し、
持続可能な成長につなげる



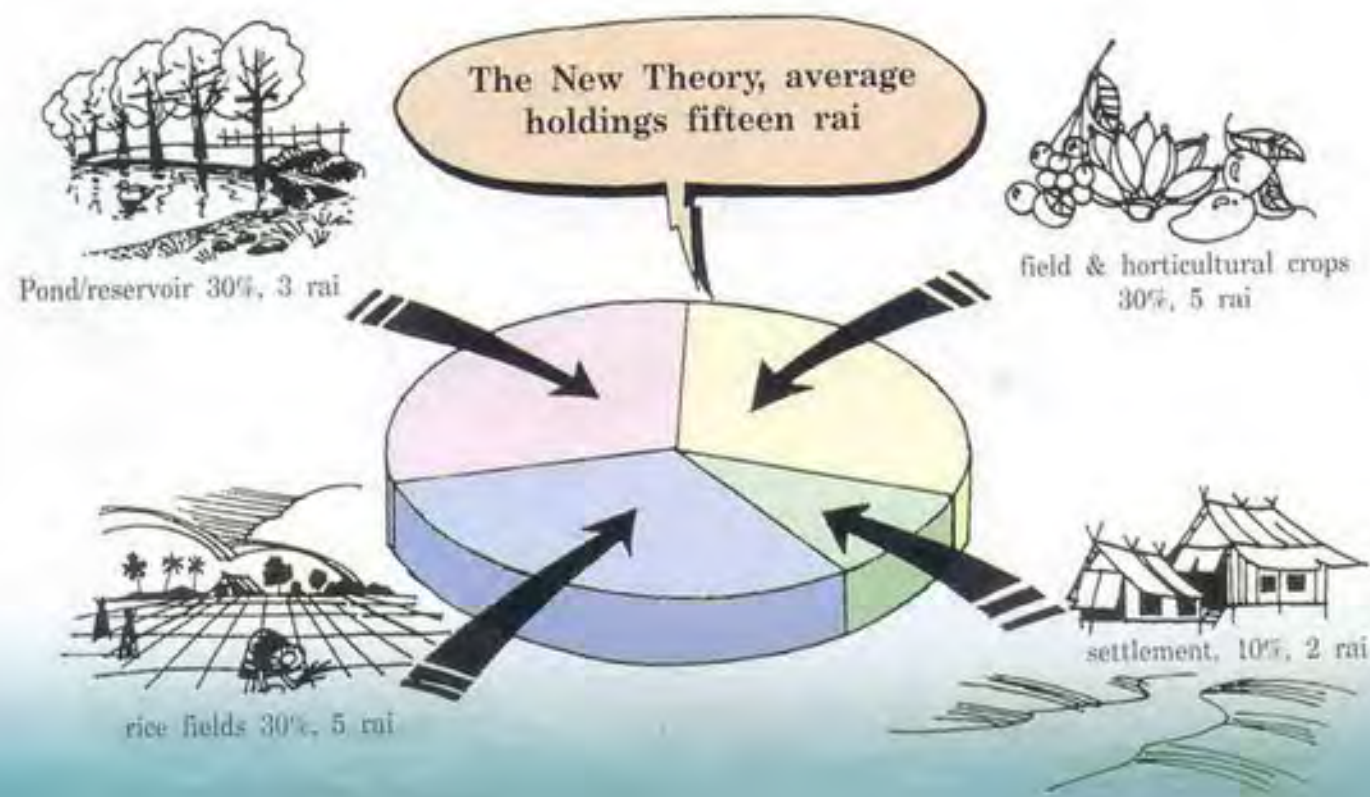


足るを知る経済

故ラーマ9世の「足るを知る経済の理念」 による王室主導の恩恵

国民は飢えることなく、経済的に適度な生活を送ることができ、「足るを知る」の理念に従って自立することができる。

水不足の時には、池に貯めた水を利用して、灌漑システムに頼らず、少量の水で育つ野菜を育てることができる。



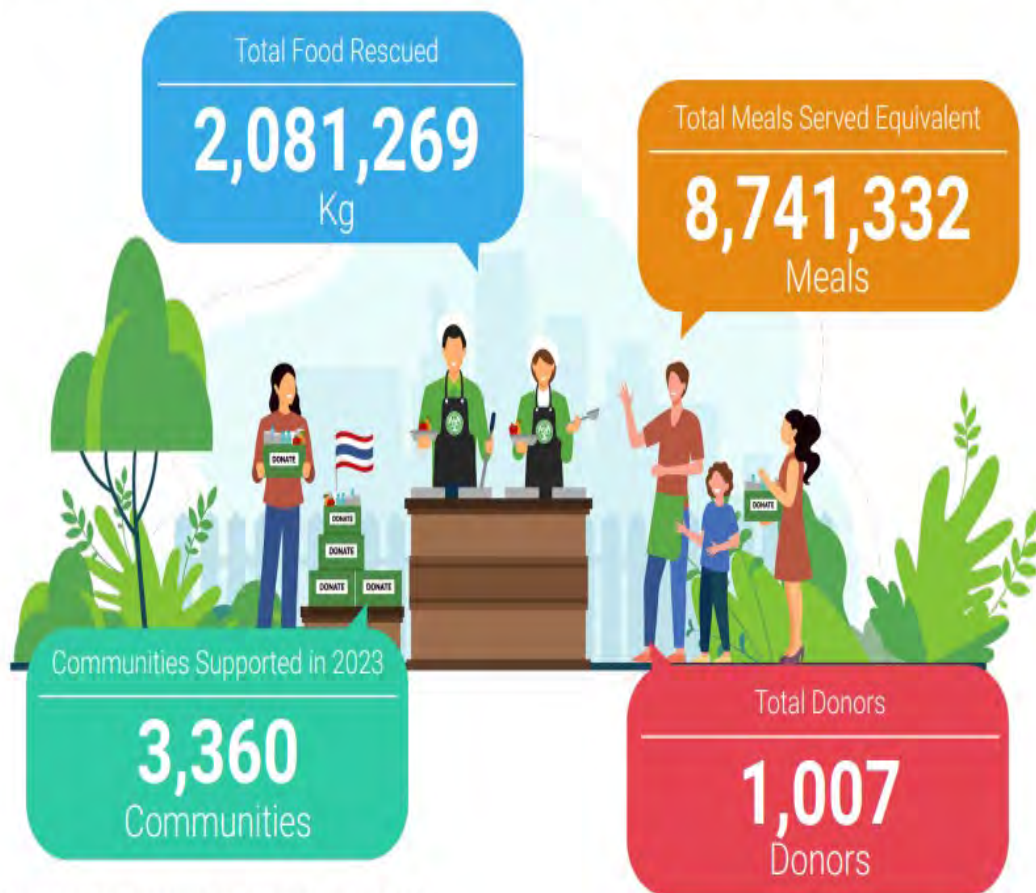
持続可能でエシカルなグリーン消費の広がり

- タイでは、持続可能性や社会的責任、文化的価値観を重視した取組が広がりを見せており、行政機関や民間セクターによるエシカル消費の推進が活発化している。
- 高級レストランにおける地元食材の使用
(例：タイのハーブと野菜)
- 食品ロスとプラスチック包装の削減
- 持続可能でエシカルなグリーン消費文化の創造



SOS Thailand (Scholars of Sustenance)

THAILAND IMPACT NUMBER 2023



SCHOLARS OF SUSTENANCE FOUNDATION THAILAND

SOS Thailand (Scholars of Sustenance)

- ホテル、レストラン、小売業者と協力する食品救済財団。
- 余剰食品を収集し、必要としている地域社会に再分配する。
- 食べられる食品の廃棄を減らし、二酸化炭素排出量を削減。

レスキューキッチンプログラムは、ボランティア、近隣住民、そして地域社会との間に強い絆を育むことで、大きな成果を挙げてきた。2023年には合計909のイベントを開催。

このプログラムは、栄養価が高く心温まる食事を必要とする人々に提供するだけでなく、人々をひとつにし、コミュニティ意識を育む。これらのキッチンでは、ボランティア、隣人、地域の人々が集まり、食糧難に苦しむ人々のために食事を用意する拠点になっている。困っている人たちのために皆が協力して料理することは、まさに地域社会ぐるみの取組である。

2023年には、このプログラムが提供したサービスの数は以下を超えた：

256K **1M+**
KG MEALS



食に関する主な取組

レスキュープログラム

SOSの核となる活動の枠組みは、フード・サプライ・チェーン内のさまざまな供給源から余剰食品を救い出すことである。私たちの取組は、サプライ・チェーンのさまざまな地点で、食品生産者によって廃棄処分される可能性のある消費可能な食品を救済することに向けられている。そして、救出した資源を食糧不安に直面している地域社会に再配分する。

料理プログラム

SOS財団では、食糧不足に直面している人々に余剰食糧を配給するだけでなく、地域の人たちが一緒に料理する活動を通じて、地域のつながりや自立を支えている。献身的なボランティア、教育機関、そして若者たちと協力し、温かい食事を届けるだけでなく、すべての人々にバランスの取れた栄養を摂取してもらえることを目的としたダイナミックな活動を実施している。

教育プログラム

SOSでは、多面的なアプローチを通じて食品廃棄の問題に取り組むことに専心しており、そのひとつが教育プログラムの提供である。教育プログラムに参加することで、個人は食品廃棄の影響について理解を深め、日常生活で廃棄を最小限に抑えるための実践的な対策を学び、食品ロスや食品廃棄という憂慮すべき問題に対する認識を広めることができる。

日本政府の 草の根・人間の安全保障無償資金協力 (GGP)



SOS財団が、日本政府による草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）の助成を受けたという嬉しいニュースをお伝えできることを大変嬉しく思います。この助成金により、私たちは必要不可欠なトラック2台を手に入れることができました。これは私たちの食糧救済プログラムにとって極めて重要な進展であり、タイにおける飢餓と闘い、食糧廃棄を最小限に抑えるという私たちの使命をさらに推し進めるものです。

正式な協定調印式は2023年3月13日、在タイ日本国大使館で行われ、梨田和也駐タイ王国特命全権大使が正式にパートナーシップを締結しました。この提携は私たちの旅路における重要なマイルストーンであり、日本政府による支援に深く感謝しています。

在タイ日本国大使館からのトラック2台の寛大な寄贈は、より多くの人々が健康的で栄養価の高い食事を利用できるようにするため、食料の収集と分配の能力を大幅に向上させる画期的な貢献です。私たちは、これらのトラックが、地域社会における食糧不足を緩和するための私たちの継続的な取組にプラスの効果をもたらすことを期待しています。

梨田和也大使をはじめとする在タイ日本国大使館の皆様には、私たちの活動への支援に代表されるように、草の根・人間の安全保障プロジェクトに対する揺るぎないコミットメントに心より感謝申し上げます。世界中の地域社会にポジティブな影響を与えようとする彼らの献身的な姿勢は称賛に値するものであり、私たちは、すべての人々にとってより明るく持続可能な未来を創造するために、今後も協力的な取組を続けていくことを切望しています。



SCHOLARS OF SUSTENANCE FOUNDATION THAILAND



SOSバンコク

SOS財団タイがバンコクに設立
地元の非政府組織として活動し
使命の第一歩を踏み出す

SOSプーケット

SOS財団タイが、プーケットに第2支部
を設立。初の地域運営となる。

SOSチェンマイ

SOS財団タイが、チェンマイに第4支部
を設立。3つ目の地域運営となる。

SOSジャカルタ

SOS財団ジャカルタが
インドネシアに設立



財団設立

ポー・ホルムグリーン財団が設立
アメリカでは、フード・レスキューの募金
活動やScholars of Sustenance Globalと
して知られている。

SOSバリ

SOS財団インドネシアが、2番目
のSOS事務所としてバリ島に設立

SOSホアヒン

SOS財団タイが、ホアヒンに第3支部を
設立。2番目の地域運営となる。

SOSメトロ・マニラ

SOS財団フィリピンが、
3番目の国際展開として設立

OUR JOURNEY



アップサイクル (創造的再利用) のための プラスチック利用

- プラスチックごみに価値を与える
- このドレスを作るために1,800個のプラスチックごみが使われた。
 - ・ 80% : 金色のボトルキャップ
 - ・ 20% : プラスチック食品包装



エシカルで持続可能な消費 への挑戦



ASEANの消費者のための 持続可能な消費

1. 持続可能な消費の概念と原則
2. 持続可能な消費を促進する政策に対する地域および国際的なベストプラクティスとアプローチ
3. 消費者行動に影響を与えるために使用されるツールと手段
4. 特定分野における適切な手段・ツールの使用



The ASEAN Toolkit On
Sustainable Consumption



one vision
one identity
one community



***Thank you for
your attention***

**Asst.Prof.Dr. Pooldapat
Wimonkunarak**

**Email:
sathitawimonkunarak@gmail.com**